

平成26年度 1月23日副知事申し入れ事項

申し入れの内容	回答
1 多核種除去設備等により汚染水を全量処理するまでのスケジュールを具体的かつ定量的に示すこと。	現時点のペースで処理した場合、処理完了は5月中になる見通しですが、追加対策の稼働状況やこのたびの死亡事故を踏まえた総点検の結果も見極めた上で、3月中旬までには全量処理完了時期の具体的な見通しを明らかにいたします。
2 汚染水によるリスクを低減させるため、多核種除去設備等が十分な性能を発揮できるように、国内外の技術を結集して改善等を行い、安全にかつ早期に汚染水の処理を完了させること。	廃炉工程につきましては、国、東京電力および関係機関において世界の英知を集めながら進めている技術開発の成果を取り入れながら進めており、多核種除去設備等についてもこれら技術開発の成果を活用して改善を図ることにより、安全を第一に一日も早いリスク低減を目指してまいります。
3 現在行われている安全総点検について、あらゆるリスクを想定して確実に実施し、また労働災害が発生する根本原因を究明し、抜本的な再発防止対策を協力企業と一体となって実施すること。	<p>安全総点検にあたっては、今回3発電所で発生した災害の事例検討会を実施すると共に、これらの災害の事象を鑑みタリスク点検を重点的に実施しました。全ての作業に対して意識・手順・設備の観点から、作業上想定されるリスクを抽出した上で不安全箇所の抽出・是正等、確実な点検を実施し、十分な安全確認を行った上で作業を再開することとしました。</p> <p>具体的には、意識の観点としては、基本動作の徹底、高所作業における保護具等の安全装備品装着の徹底、作業ルールの理解やTBM-KYの必要性について徹底しております。</p> <p>手順の観点からは、手順書の有無確認、手順書内容の適切性の確認、手順における留意点の確認、治具使用手順の確認等を実施しました。</p> <p>さらに、設備の観点からは、不安全箇所の確認として、重量物、開口部、アンバランス（吊り上げ）、高所、手すり、治具、暗所（照明）等の観点で不安全箇所を抽出し、是正処置を実施することにより安全対策の強化・徹底を行っております。</p> <p>現在までの安全総点検を振り返り、何故今回の事故を防げなかったのかの分析を実施し、その分析結果をもとに今まで不足していた対策を検討し、展開を行ってまいります。</p> <p>また、今回の3事例（1F・2F・KK）の原因をさらに深掘りすると共に、過去の重篤災害事例を比較分析し、ここから、「墜落」「挟まれ」「感電」「重量物落下」「埋没」「酸欠」等の死亡リスクの高い事故の共通要因・根本要因を洗い出し、その対策についても展開を図ってまいります。</p> <p>今回の安全総点検の結果及び上記の共通要因・根本要因の洗い出しに基づく対策を確実に展開していくため、元請各社と安全推進協議会を通じて安全上の注意事項、作業工程、放射線管理上の注意事項等について情報共有を図るとともに、安全事前検討会の開催、朝礼・TBM-KYへの参加などを通じて、元請企業や協力企業と一体となった安全管理を徹底してまいります。</p>